

計画策定のための基礎的調査

(12/14 時点 調査中あり)

男女共同参画を取り巻く状況 - 世界・国・東京都の動向 -

世界の動向	_____	2
国の動向	_____	3
東京都の動向	_____	4

第6次府中市男女共同参画計画【現況と課題】掲載データの更新

目標	あらゆる分野における男女共同参画	_____	5
目標	ワーク・ライフ・バランスの推進	_____	15
目標	人権が尊重される社会の形成	_____	19
目標	男女共同参画社会づくり	_____	27

男女共同参画を取り巻く現況 - 世界・国・東京都の動向 -

世界の動向

新型コロナウイルス感染拡大による陰のパンデミック(世界的大流行)

2020年4月、国連は、新型コロナ感染拡大の影響で家庭内暴力が急増していると指摘、「国家規模で女性に対する暴力の防止と救済を重要項目とする」、また、「女性に対する暴力という陰のパンデミックが拡大」との声明を発し、女性のためのシェルターやヘルプライン機能を周知し、オンライン・SNSを利用した社会支援の強化を提言しました。

国際女性会議 WAW!2022 の開催

国際女性会議WAW!2022が2022年12月3日に開催されました。今回の会合では、あらゆる政策にジェンダーの視点を取り入れる「ジェンダー主流化」の観点から、10の分科会が設置され、加えて設けられた地方及び若者をテーマとした2つの特別セッションにおいて幅広い議論が行われました。

世界水準と我が国の格差(ジェンダー・ギャップ指数)

ジェンダー・ギャップ指数(GGI)はスイスの世界経済フォーラムが独自に算定する4分野(経済、教育、健康、政治)の指標から構成された、男女格差を図る指数です。

2023年、日本は総合125位(146か国中)で、前年(116位/146)から下がり、先進国の中では非常に低く、特に経済・政治分野が課題となっています。

ジェンダー・ギャップ指数

日本のGGI **125位** ↓ / 146か国

経済	123位	労働参加率の男女比 賃金の男女格差 管理職の男女比
教育	47位	
健康	59位	国会議員/ 官僚の男女比 行政府長の 在任年数の男女比
政治	138位	

(内閣府男女共同参画局HPを参考に作成)

G7栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合

2023年5月のG7広島サミット(首脳国会議)開催に合わせて、6月24日(土)・25日(日)にはG7栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合が開催されました。国際社会が直面する男女共同参画や女性活躍等に関する様々な課題や各国の取組について議論を行いました。

国の動向

第5次男女共同参画基本計画の策定(計画期間 令和2年～7年)

国では「男女共同参画社会基本法」に基づき、令和2年12月に「第5次男女共同参画基本計画～すべての女性が輝く令和の社会へ～」が閣議決定され、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に関する視点の追加、誰でもわかりやすい計画づくり、策定プロセスの強化が特徴となっており、SDGs(持続可能な開発目標)達成に向けた取組等も追加されています。

コロナ下の女性への影響と課題に関する研究報告

令和3年4月、コロナ下の女性への影響と課題に関する研究会から、DV相談件数(令和2年4月～令和3年2月)は同月前年度の1.5倍となり、民間NPO等からは若い女性の生活困窮、家庭内での問題が悪化するなど深刻な相談が増加している状況が報告されました。就業者数も男女ともに大幅に減少、特に女性の減少幅が大きく、コロナ下での移動制限により宿泊業や飲食業のサービス業に大きな影響が出ています。

政治分野における男女共同参画の推進に関する法律の改正

政治分野における男女共同参画の推進に関する法律の一部を改正する法律が令和3年6月16日に公布・施行されました。

この法律では、基本原則として男女の候補者の数ができる限り均等となることを目指すこと等を定めており、政党は男女の候補者数の目標設定に努めるものとされています。また、国及び地方公共団体は、セクハラ・マタハラへの対応を始めとする環境整備等の施策の強化をすることが明記されています。

女性デジタル人材育成プラン

DX推進の中、コロナ下における女性の就労支援や女性の経済的自立、デジタル分野におけるジェンダー・ギャップの解消等を目的に令和4年4月26日に「女性デジタル人材育成プラン」が決定されました。スキル向上、就労支援の両面から今後3年間集中的に女性デジタル人材育成に取り組むとしています。

こども家庭庁の創設

子どもに関する取組・政策を真ん中に据えた社会の実現を目指し、新たな推進体制としてこども家庭庁が令和5年4月1日に創設されました。令和5年6月13日に閣議決定された「こども未来戦略方針」では、基本理念として「社会全体の構造・意識変革」などがあげられ、子育て世代の働き方改革の推進と育休制度等の強化に取り組むとしています。

また、今後3年間で取り組む加速化プランでも、「共働き・共育での推進」などがあげられ、育休制度の制度と給与面を抜本強化し、男性の育休取得を促進するとしています。

困難な問題を抱える女性への支援に関する法律

「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」(議員立法)が令和4年5月に成立しました。新法は売春防止法から婦人保護事業を抜き出して刷新したもので、「性的な被害、家庭の状況、地域社会との関係性その他の事情」により困難な問題を抱える女性の福祉の増進を図るとしています。施行は令和6年4月1日で、国の基本方針を踏まえ、都道府県には施策の実施計画を作る義務が、市町村には努力義務があります。

2025年大阪・関西万博における「女性活躍推進」

SDGs達成を目指す上で、女性活躍や多様性の実現は重要なテーマと捉え、2025年大阪・関西万博では「女性活躍推進館(仮称)」が設置されます。出展は官民共同参画プロジェクトとし、女性活躍の状況を発信するほか、ジェンダー平等に関する展示を行う予定となっています。

東京都の動向

東京都パートナーシップ宣誓制度の運用開始

令和4年11月1日、多様な性への理解を深めて、性的マイノリティの人々が暮らしやすい環境づくりにつなげる制度として運用が始まりました。

東京都男女平等参画推進総合計画の策定(計画期間 令和4年度～令和8年度)

従来からあった「男女平等参画のための東京都?動計画」(現「東京都女性活躍推進計画」)及び「東京都配偶者暴力対策基本計画」の両計画を改定した総合計画として、「東京都男女平等参画推進総合計画」を平成29年3月に策定しましたが、社会情勢の変化等により新たに生じた課題への取組などを踏まえ令和4年3月に改定した計画を策定しました。

東京都オリンピック憲章にうたわれる人権尊重の理念の実現を目指す条例の制定

いかなる種類の差別も許されないという、オリンピック憲章にうたわれる人権尊重の理念が広く都民等に一層浸透した都市となることを目的として、平成30年10月に制定された条例の第2章では、「多様な性の理解の推進」においては、性自認及び性的指向を理由とする不当な差別の解消並びに啓発等の推進を図るとされています。この条例に基づいて、令和元年12月には、「東京都性自認及び性的指向に関する基本計画」が策定されました。

第6次府中市男女共同参画計画【現況と課題】掲載データの更新

第6次府中市男女共同参画計画推進状況評価

各目標の課題ごとに、第6次府中市男女共同参画計画推進状況評価(令和2年度～令和4年度)の担当課評価の平均を掲載しました。

平均値を「評価基準3」を基準として、順調に進捗している 進捗している やや遅れている に分類。

タイトル の図表

第6次府中市男女共同参画計画の「計画の内容」の【現況と課題】に掲載されているデータで、現状値が確認できる図表データを更新しました。

- ・表のセルがピンクに色づけされたデータは、第6次計画時と比べ、数値が高くなっているもの、ブルーに色づけされたデータは、数値が低くなっているものです。
- ・グラフのマーカーがオレンジ色のデータが更新した部分です。

タイトル の図表

第7次計画策定の基礎データとして新たに作成したものです。

目標 あらゆる分野における男女共同参画

課題1 社会・地域における様々な分野での女性活躍を推進する環境づくり

第6次府中市男女共同参画計画推進状況評価(令和2年度～令和4年度) 担当課評価平均

令和2年度	令和3年度	令和4年度
2.53	2.65	2.65

担当評価基準	
	5: 予定より大きな成果が出ている
	4: 予定した成果が出ている(基準=100%の達成率)
	3: おおむね予定した成果が出ている
	2: 予定した成果があまり出していない
	1: 予定した成果が出していない

目標 課題1
担当課評価平均では、3か年を通して評価基準3に達していない。
やや遅れている

男女の地位評価 「男女の地位・立場は平等になっている」と思う人の割合

・府中市は前回調査より「家庭生活の場」「職場」「法律や制度の上」「社会通念・習慣・しきたり」で男女が平等になっている割合が増加している。

・国、東京都と比較すると府中市は「学校教育の場」で男女平等の割合が大変低い。

	府中市		東京都		国	
	平成30年	令和5年	平成27年	令和3年	平成28年	令和4年
(1) 家庭生活の場で	32.4%	36.4%	32.4%	26.8%	47.4%	31.7%
(2) 職場で	23.2%	28.4%	23.2%	21.6%	29.7%	26.4%
(3) 学校教育の場で	46.9%	44.7%	46.9%	67.5%	66.4%	68.1%
(4) 地域社会(自治会・町会など)で	29.3%	24.0%	29.3%	36.0%	47.2%	40.2%
(5) 政治の場で	6.9%	6.0%	6.9%	9.6%	18.9%	9.6%
(6) 法律や制度の上で	22.7%	28.2%	22.7%	32.8%	40.8%	37.0%
(7) 社会通念・習慣・しきたりなどで	8.5%	10.1%	8.5%	14.8%	21.8%	12.9%

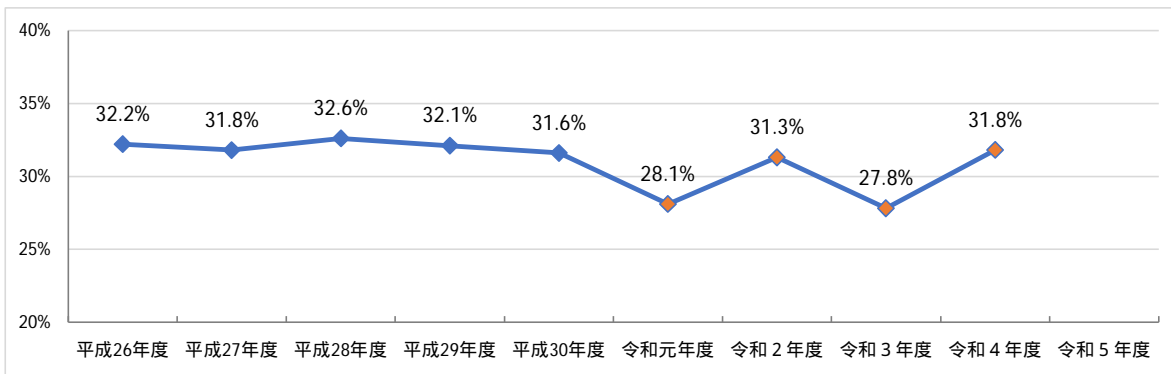
府中市における女性議員の割合

- ・府中市は令和元年と比較して議会に占める女性割合が増加している。
- ・東京都議会、参議院も女性割合が増加しているが、衆議院はわずかに減少している。

	府中市 (令和4年)	東京都 (令和5年)	国(令和5年)	
			衆議院	参議院
議会に占める 女性割合	31.3%	30.1%	10.0%	26.0%
第6次掲載	令和元年	平成30年	平成29年	平成29年
議会に占める 女性割合	23.3%	28.6%	10.1%	20.7%

市が設置する審議会等における女性議員の割合の推移

- ・審議会等における女性議員の割合は、令和元年以降は増減を繰り返している。



審議会等における女性比率(近隣市との比較)

出典: 令和4年度地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況(内閣府男女共同参画局)

- ・府中市は東京都の平均を上回っており、近隣自治体とほぼ同じ女性比率となっている。



市や地域での活動への参加状況と不参加理由

* 前回と設問や選択肢を変更したので比較できるものを選択して掲載

市や地域での活動への参加状況

		参加したいが できていない	参加するつもり はない
		参加していない	
全体	R5年	38.0%	40.8%
			78.7%
	H30年	63.5%	
男性	R5年	41.9%	38.5%
			80.4%
	H30年	69.1%	
女性	R5年	35.7%	41.4%
			77.1%
	H30年	59.8%	

・前回調査は「市や地域での活動への参加の状況」だけを問う設問だったが、今回はその内訳をきいている。
 ・前回と比較すると、「参加していない」人が増加しているものの、「参加したいができていない」人が約半分となっている。

* H30年は「各選択肢のいずれにも参加していない人」

不参加の理由

- ・不参加の理由はどの選択肢も前回より増加しており、男女とも「仕事が忙しい」という理由が半数を占めている。
- ・「参加方法がわからない、きっかけがない」も前回より増加している。

		仕事が忙しいから	家事や育児・介護などが 忙しいから	参加方法がわからない、 きっかけがないから
全体	令和5年	53.3%	20.5%	40.5%
	平成30年	40.8%	12.7%	12.4%
男性	令和5年	56.6%	12.3%	47.5%
	平成30年	44.3%	4.5%	12.9%
女性	令和5年	50.4%	27.7%	34.3%
	平成30年	37.8%	18.7%	12.4%

* H30年は選択肢の内容がR5年に近いものを選択

自治会長に占める女性比率(近隣市との比較)

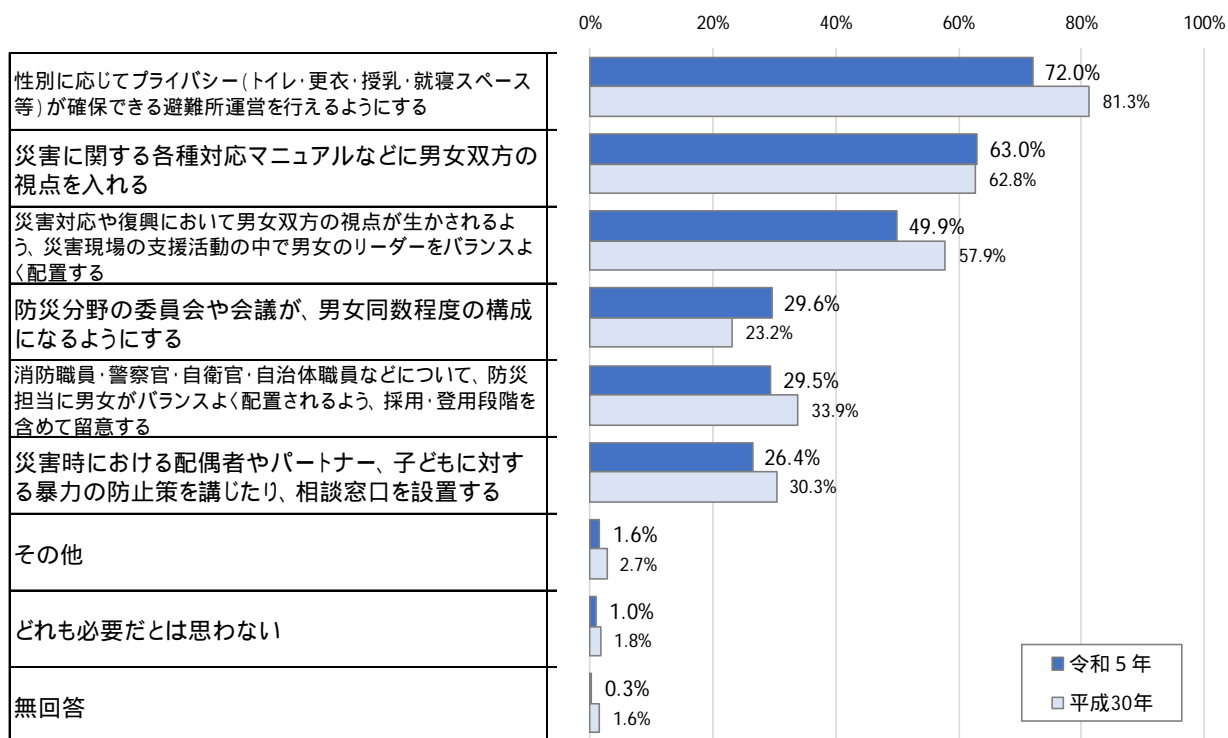
出典: 令和4年度地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況(内閣府男女共同参画局)

- ・府中市は東京都の平均を上回っている。



災害対策に男女双方の視点を生かすために重要なこと

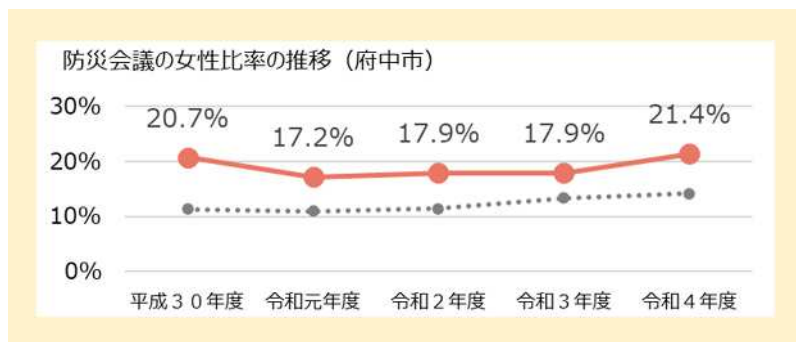
・前回調査より増加しているのは「防災分野の委員会や会議が、男女同数程度の構成になるようにする」となっている。



防災会議の女性比率(会長を含む / 近隣市との比較)

出典: 令和4年度地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況(内閣府男女共同参画局)

・府中市は東京都の平均を上回っており、5年間の推移を見ると20%前後で推移している。



課題2 労働の場における男女共同参画

第6次府中市男女共同参画計画推進状況評価(令和2年度～令和4年度) 担当課評価平均

令和2年度	令和3年度	令和4年度
3	3	3

担当評価基準
5: 予定より大きな成果が出ている
4: 予定した成果が出ている(基準 = 100%の達成率)
3: おおむね予定した成果が出ている
2: 予定した成果があまり出ていない
1: 予定した成果が出ていない

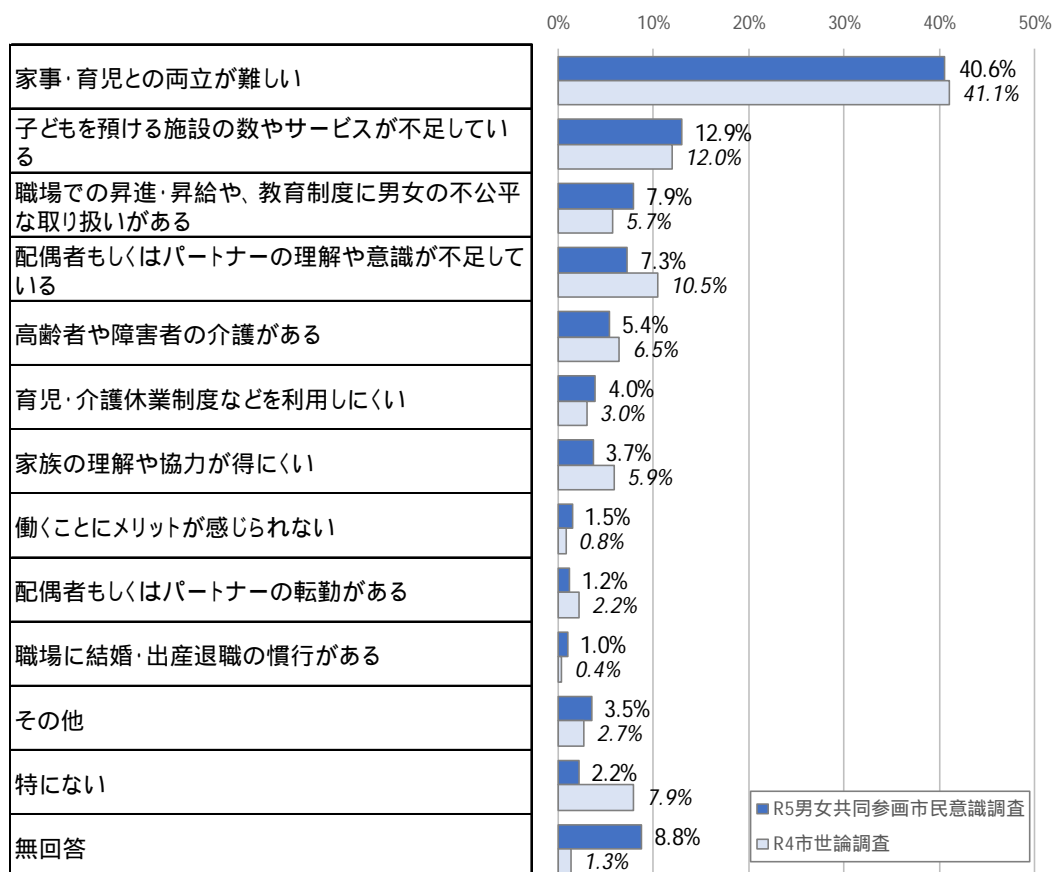
目標 課題2
担当課評価平均では、
3か年を通して評価基
準3となっている。

進捗している

女性が職業を持つことについての考え 令和5年調査では設問を除外したので比較できない

女性が職業を長く持ち続けていくうえで最も大きな壁(R4年府中市世論調査結果と比較)

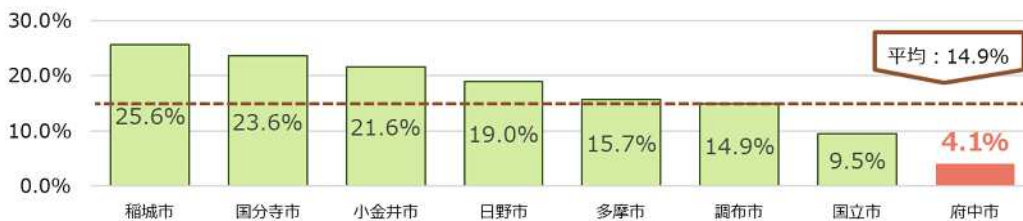
・令和4年の府中市世論調査と比較するとほぼ同じ傾向となっているが、「配偶者もしくはパートナーの理解や意識が不足している」については世論調査の方が高い割合を示している。



女性管理職の在職状況(一般行政職 課長相当職 / 近隣市との比較)

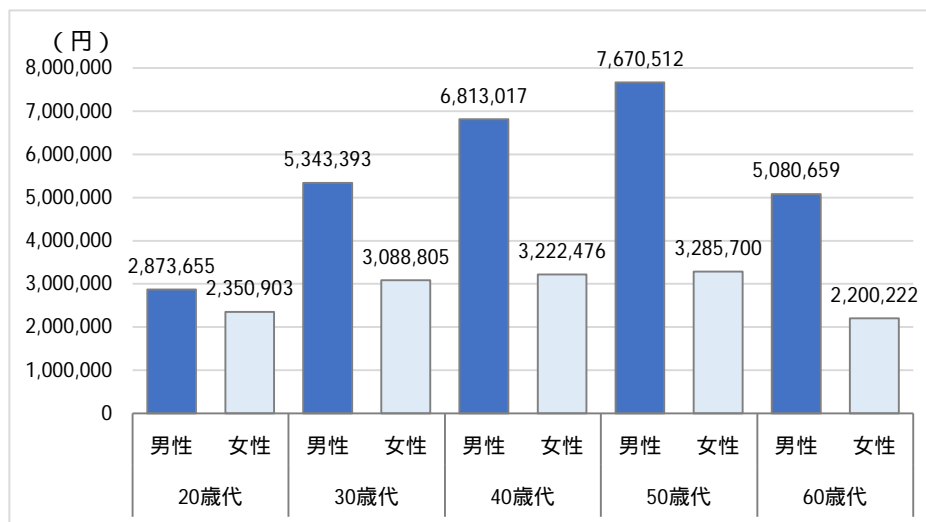
出典: 令和4年度地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況(内閣府男女共同参画局)

・府中市は東京都の平均を下回っており、近隣自治体と比較しても低い割合となっている。



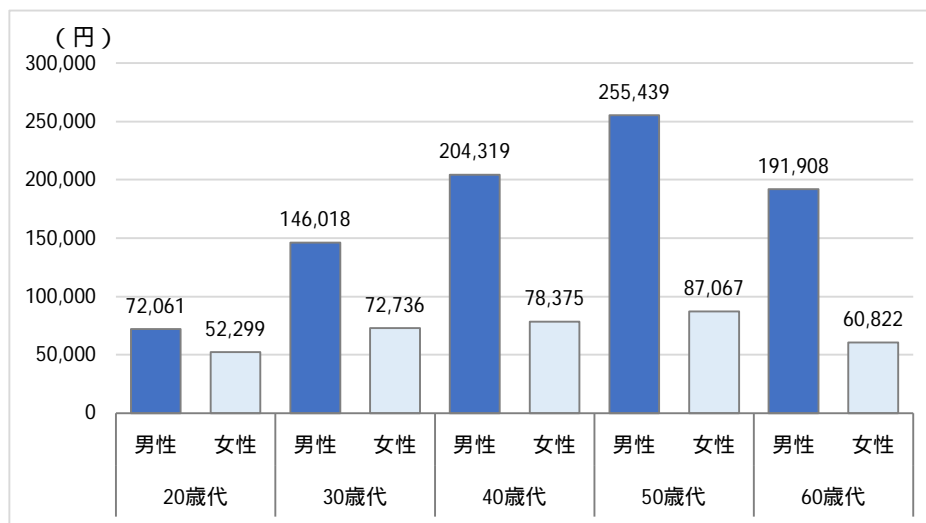
男女別年代別給与収入(府中市 20歳代から60歳代)

・男女の給与収入は、どの世代も女性が低く、収入の上がり方も男性は20歳代から50歳代まで順調に上がっていくのに対し、女性の上がり方はほぼ横ばいとなっている。



男女別年代別市民税額(府中市 20歳代から60歳代)

・市民税額も給与収入と同様となっている。



課題3 教育の場における男女共同参画

第6次府中市男女共同参画計画推進状況評価(令和2年度～令和4年度) 担当課評価平均

令和2年度	令和3年度	令和4年度
3	3.25	3.25

担当評価基準	5: 予定より大きな成果が出ている 4: 予定した成果が出ている(基準 = 100%の達成率) 3: おおむね予定した成果が出ている 2: 予定した成果があまり出ていない 1: 予定した成果が出ていない
--------	---

目標 課題3
 担当課評価平均では、
 3か年を通して評価基
 準3以上となっている。

 順調に進捗している

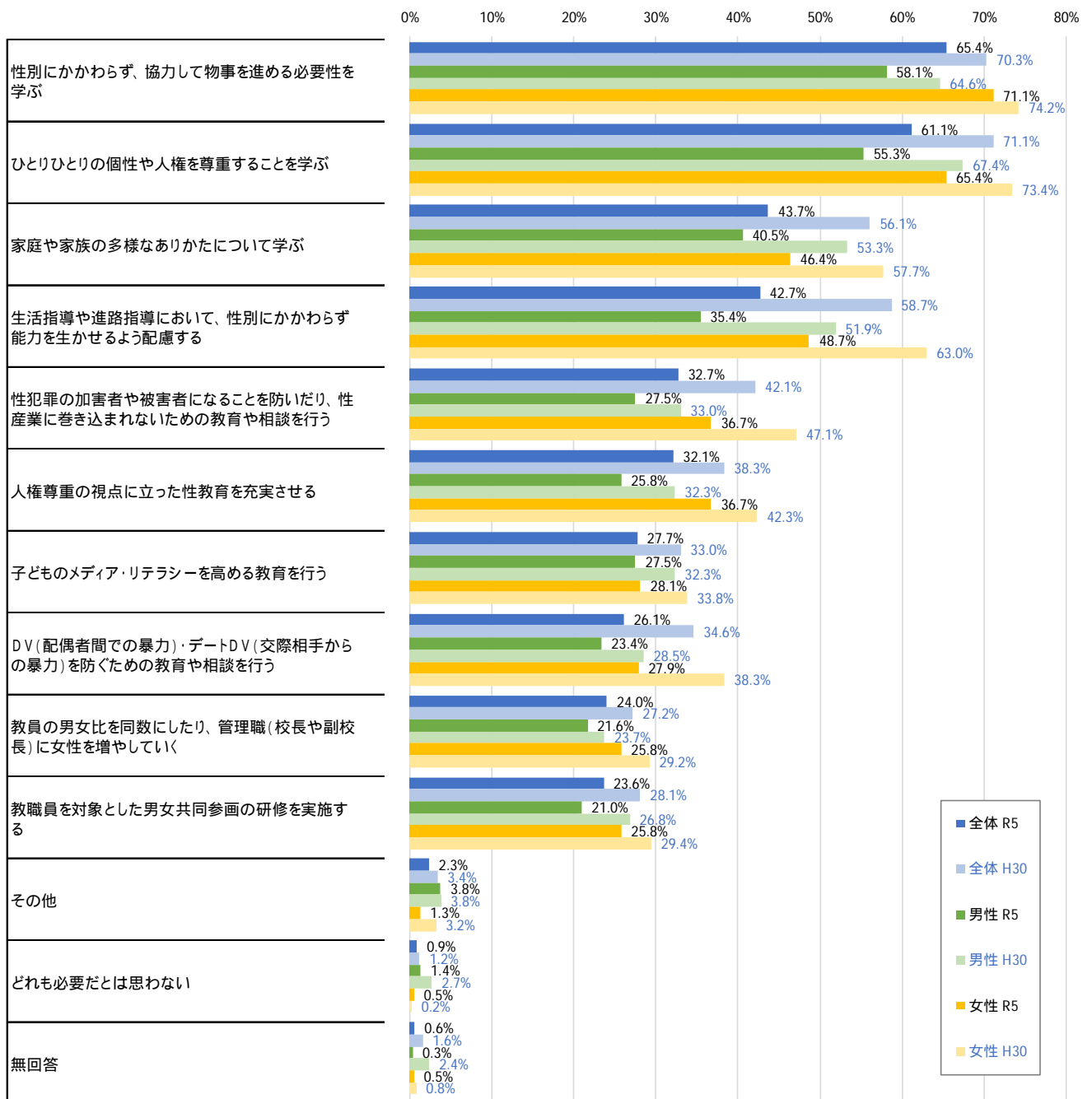
市内公立小学校・中学校における女性校長・副校長の割合

- ・前回調査時点から、小学校では校長、副校長の女性の割合がやや増加している。
- ・中学校は変化なし。

		小学校		中学校	
		平成31年	令和5年	平成31年	令和5年
学校数		22校	22校	11校	11校
校長	男性	17人	16人	10人	10人
	女性	5人	6人	1人	1人
	女性の占める割合	22.7%	27.3%	9.1%	9.1%
副校長	男性	16人	20人	9人	9人
	女性	8人	5人	2人	2人
	女性の占める割合	36.4%	22.7%	18.2%	18.2%

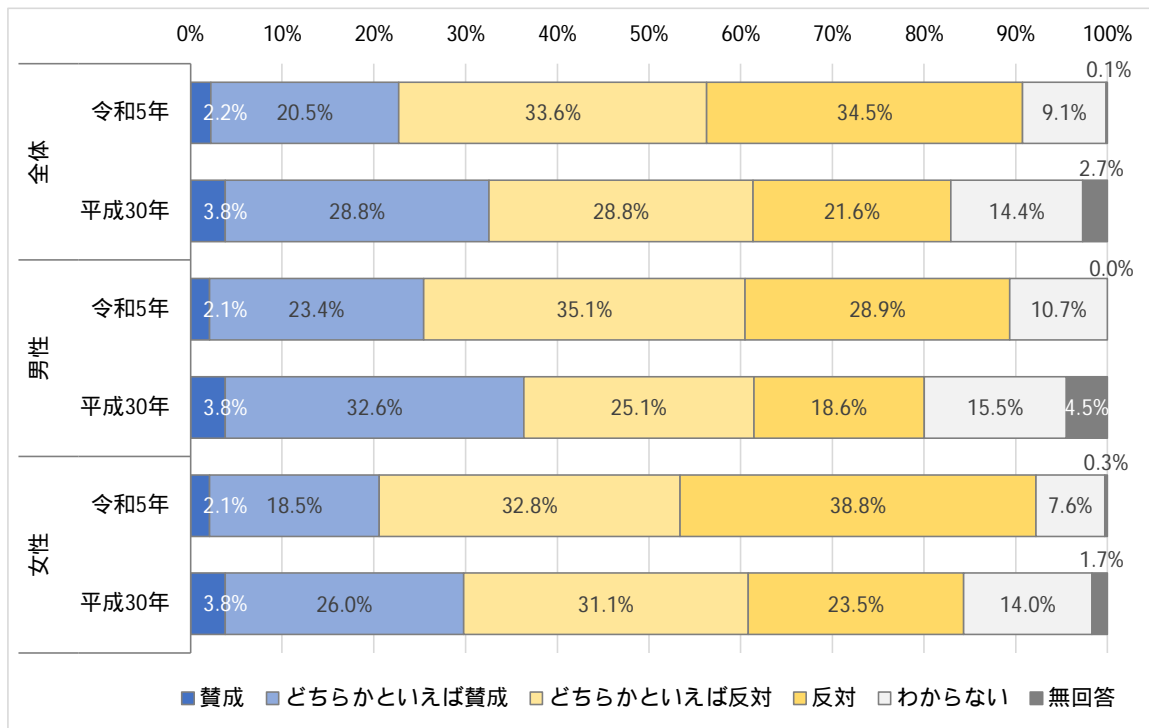
学校教育で特に必要な取組

・前回調査と比較すると、どの選択肢も必要な取組だという割合が減少している。



「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について

- ・前回調査と比較すると、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に反対という割合が増加している。
- ・また、今回は「わからない」「無回答」の割合が減少しており、無関心層が減少している。



課題4 市民協働における男女共同参画

第6次府中市男女共同参画計画推進状況評価(令和2年度～令和4年度) 担当課評価平均

令和2年度	令和3年度	令和4年度
3	3.17	3.17

担当評価基準	5: 予定より大きな成果が出ている 4: 予定した成果が出ている(基準=100%の達成率) 3: おおむね予定した成果が出ている 2: 予定した成果があまり出していない 1: 予定した成果が出ていない
--------	--

目標 課題4
 担当課評価平均では、
 3か年を通して評価基
 準3以上となっている。

 順調に進捗している

「協働」について興味があるか

府中市世論調査からの現状 R4年度世論調査では設問内容が異なるので比較できない

課題5 国際社会への貢献

第6次府中市男女共同参画計画推進状況評価(令和2年度～令和4年度) 担当課評価平均

令和2年度	令和3年度	令和4年度
3	3	3

担当評価基準	
	5: 予定より大きな成果が出ている
	4: 予定した成果が出ている(基準 = 100%の達成率)
	3: おおむね予定した成果が出ている
	2: 予定した成果があまり出していない
	1: 予定した成果が出していない

目標 課題5
担当課評価平均では、
3か年を通して評価基
準3となっている。

進捗している

府中市の日本人・外国人別人口の推移(府中市住民基本台帳人口)

・府中市の人口に占める外国人の割合は年々増加傾向で推移しており、令和2～3年度の新型コロナの影響でやや減少に転じたが、令和4年度から再び増加となっている。

年度	日本人(人)	外国人(人)	外国人比率
平成27年度	251,109	4,237	1.7%
平成28年度	252,894	4,424	1.7%
平成29年度	253,276	4,626	1.8%
平成30年度	253,627	4,940	1.9%
平成31年度	254,340	5,233	2.1%
令和2年度	255,148	5,176	2.0%
令和3年度	255,198	5,044	2.0%
令和4年度	255,072	5,468	2.1%
令和5年度	254,547	5,711	2.2%

男女が共に認め合い、いきいきと豊かに暮らせる社会を実現させるために、特に力を入れてほしいこと

* 前回と選択肢を変更したので比較できるものを選択して掲載

・前回とは選択肢の内容が異なるが、市内在住外国人への情報発信や世界の先進事例の紹介に力を入れてほしいなど男女共同参画の取組の国際化の要望が増加している。

		全体	男性	女性
R5年 調査	市内在住の外国人の男女共同参画に関する取組について、情報発信等を充実する	14.1%	15.5%	12.8%
	各国の男女共同参画に関する取組について、先進事例を紹介する	19.1%	20.3%	17.7%
H30年 調査	各国の男女共同参画に関する取組について理解することや、日本の取組を発信するために、外国人との交流による情報交換などの国際交流を推進する	12.0%	7.9%	14.6%

目標 ワーク・ライフ・バランスの推進

課題1 仕事と生活の両立支援

第6次府中市男女共同参画計画推進状況評価(令和2年度～令和4年度) 担当課評価平均

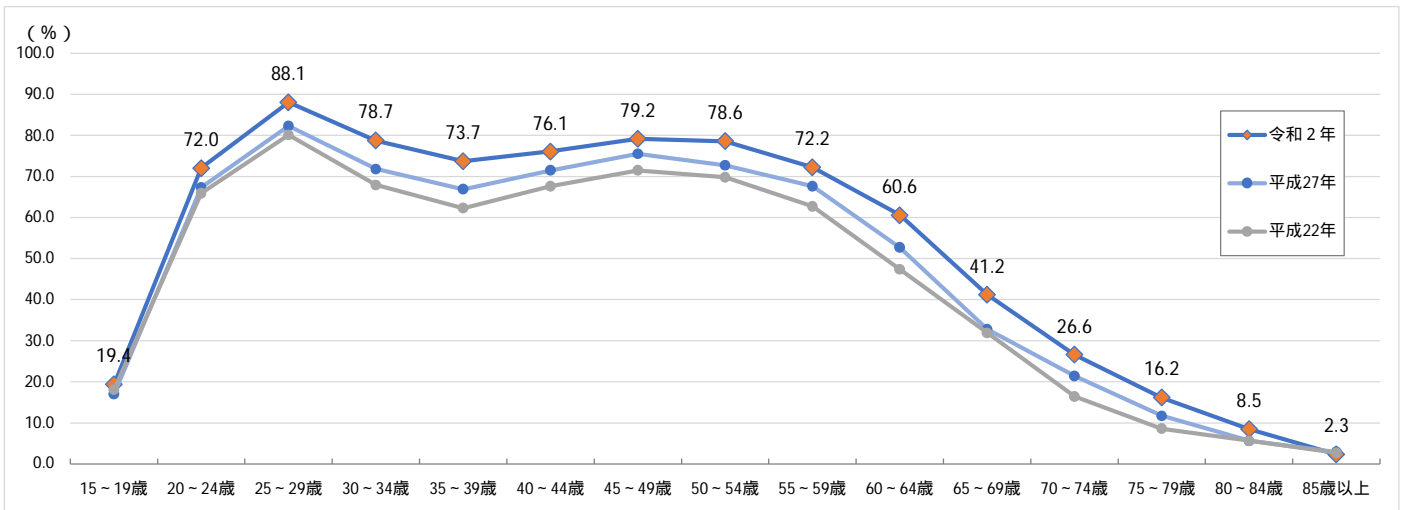
令和2年度	令和3年度	令和4年度
2.83	3	3

担当評価基準	5: 予定より大きな成果が出ている 4: 予定した成果が出ている(基準=100%の達成率) 3: おおむね予定した成果が出ている 2: 予定した成果があまり出ていない 1: 予定した成果が出ていない
--------	---

目標 課題1
 担当課評価平均では、
 直近2か年では評価基準3となっている。
 進捗している

年齢階級別女性の労働力率の推移(国勢調査 各年)

・平成22年・平成27年と比較すると、令和2年の国勢調査ではほぼすべての年代で労働力が増加している。



「仕事」、「家庭生活」、「個人の生活」の優先度

- ・府中市、東京都ともに、前回調査より「個人の時間を優先したい」「仕事と個人の時間を優先したい」「家庭生活と個人の時間を優先したい」「仕事と家庭生活、個人の時間すべてを優先したい」と回答した割合が増加している。
- ・府中市は前回・今回ともに「家庭生活と個人の時間を優先したい」が最も高い割合となっている。

	府中市		東京都	
	平成30年	令和5年	平成27年	令和3年
「仕事」を優先したい	3.6%	2.6%	4.4%	2.8%
「家庭生活」を優先したい	17.9%	9.8%	15.7%	10.9%
「個人の時間」を優先したい	11.3%	13.6%	9.3%	11.1%
「仕事」と「家庭生活」を優先したい	19.3%	12.8%	21.9%	15.1%
「仕事」と「個人の時間」を優先したい	6.1%	6.9%	7.4%	8.6%
「家庭生活」と「個人の時間」を優先したい	20.7%	31.5%	12.2%	13.8%
「仕事」、「家庭生活」、「個人の時間」すべてを優先したい	19.4%	21.8%	24.7%	33.7%
無回答	1.7%	0.9%	4.4%	1.9%

「仕事」、「家庭生活」、「個人の生活」の優先度について、現実に最も近いもの

- ・府中市は、前回調査より「仕事を優先している」「仕事と個人の時間を優先している」「家庭生活と個人の時間を優先している」と回答した割合が増加している。
- ・府中市は前回は「家庭生活を優先している」が最も高かったが、今回は「仕事を優先している」が最も高い割合となっている。

	府中市		東京都	
	平成30年	令和5年	平成27年	令和3年
「仕事」を優先している	20.5%	24.6%	29.6%	31.9%
「家庭生活」を優先している	28.9%	19.1%	21.3%	14.6%
「個人の時間」を優先している	9.1%	7.6%	5.6%	4.5%
「仕事」と「家庭生活」を優先している	17.1%	17.0%	17.6%	21.3%
「仕事」と「個人の時間」を優先している	6.5%	6.9%	6.1%	7.4%
「家庭生活」と「個人の時間」を優先している	9.7%	17.6%	6.8%	5.9%
「仕事」、「家庭生活」、「個人の時間」すべてを優先している	6.6%	6.5%	6.7%	7.1%
無回答	1.7%	0.7%	6.4%	2.0%

ワーク・ライフ・バランスへの取組状況

ワーク・ライフ・バランスへの取組内容

* 東京都産業労働局ではワーク・ライフ・バランスについての調査は、平成27年度以降は実施していない。

課題2 子育て支援・介護支援

第6次府中市男女共同参画計画推進状況評価(令和2年度～令和4年度) 担当課評価平均

令和2年度	令和3年度	令和4年度
2.82	2.91	2.91

担当評価基準
5: 予定より大きな成果が出ている 4: 予定した成果が出ている(基準 = 100%の達成率) 3: おおむね予定した成果が出ている 2: 予定した成果があまり出していない 1: 予定した成果が出していない

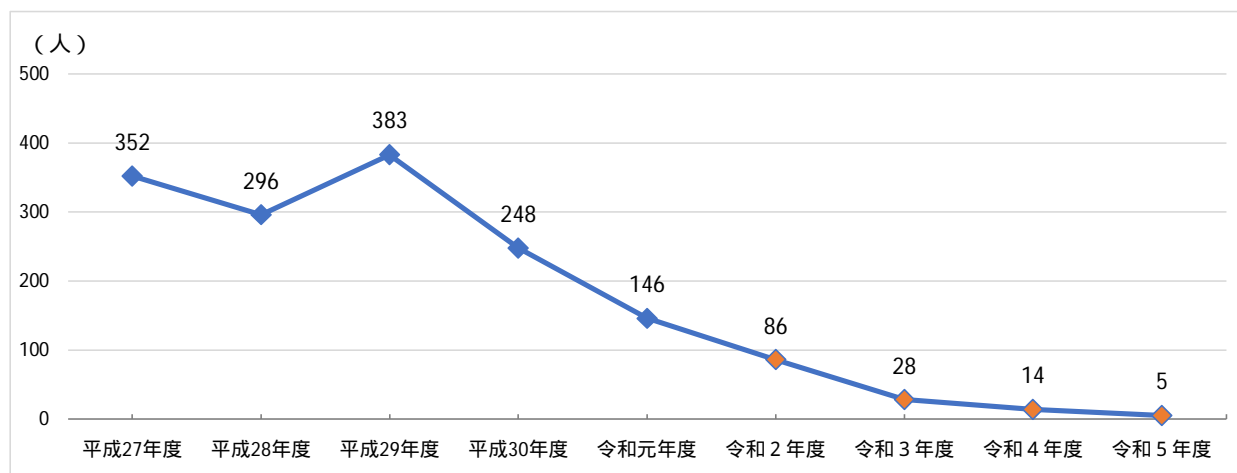
目標 課題2
担当課評価平均では、
3か年を通して評価基準3に達していない。

やや遅れている

保育所入所待機児童数の推移

・保育所の待機児童数は令和元年度以降大きく減少しており、令和5年度は5人となっている。

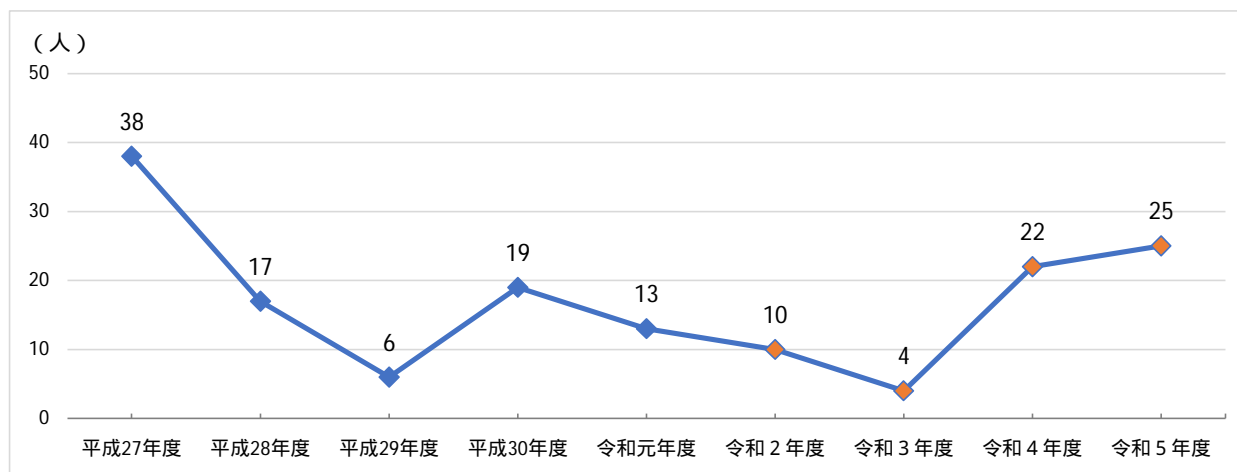
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
待機児童数(人)	352	296	383	248	146	86	28	14	5



学童クラブ入会待機児童数の推移

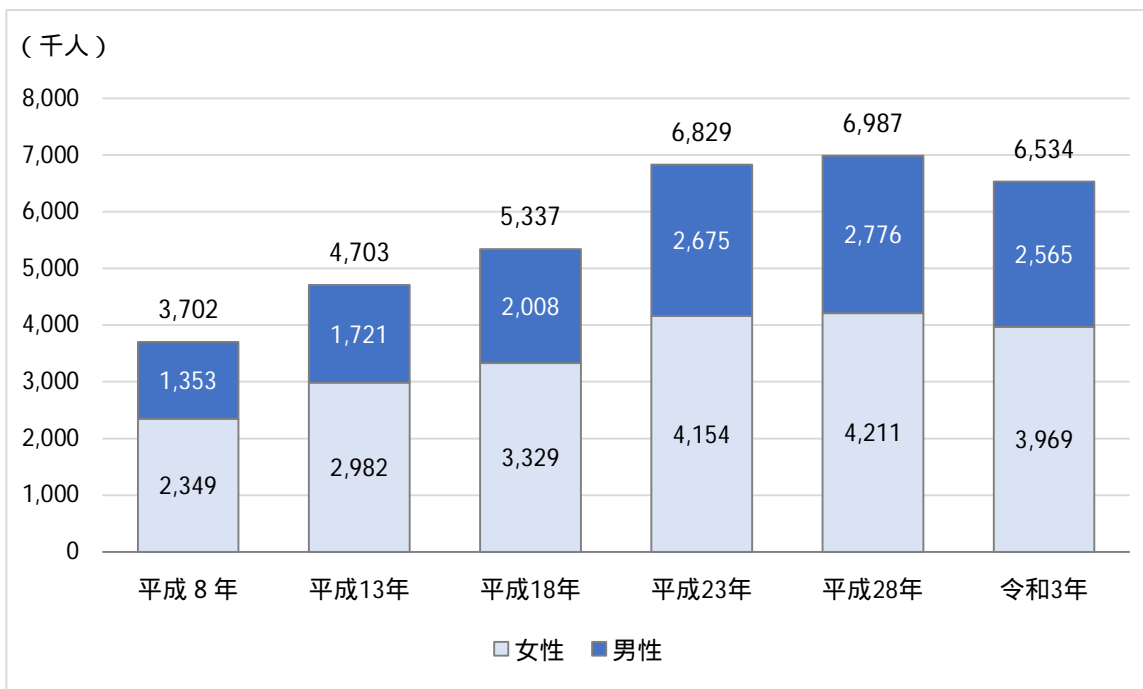
・学童クラブの待機児童数は令和4年度から増加傾向である。

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
待機児童数(人) (小学4～6年生)	38	17	6	19	13	10	4	22	25 (10/1時点)



介護者数の推移 総務省統計局 社会生活基本調査(各年)

- ・介護者数は年々増加傾向で推移していたが、令和3年はやや減少している。
- ・介護者は女性の方が多い。



介護・看護を理由とする離職者数 現在調査中

目標 人権が尊重される社会の形成

課題1 配偶者等からの暴力の防止

第6次府中市男女共同参画計画推進状況評価(令和2年度～令和4年度) 担当課評価平均

令和2年度	令和3年度	令和4年度
2.86	3	3

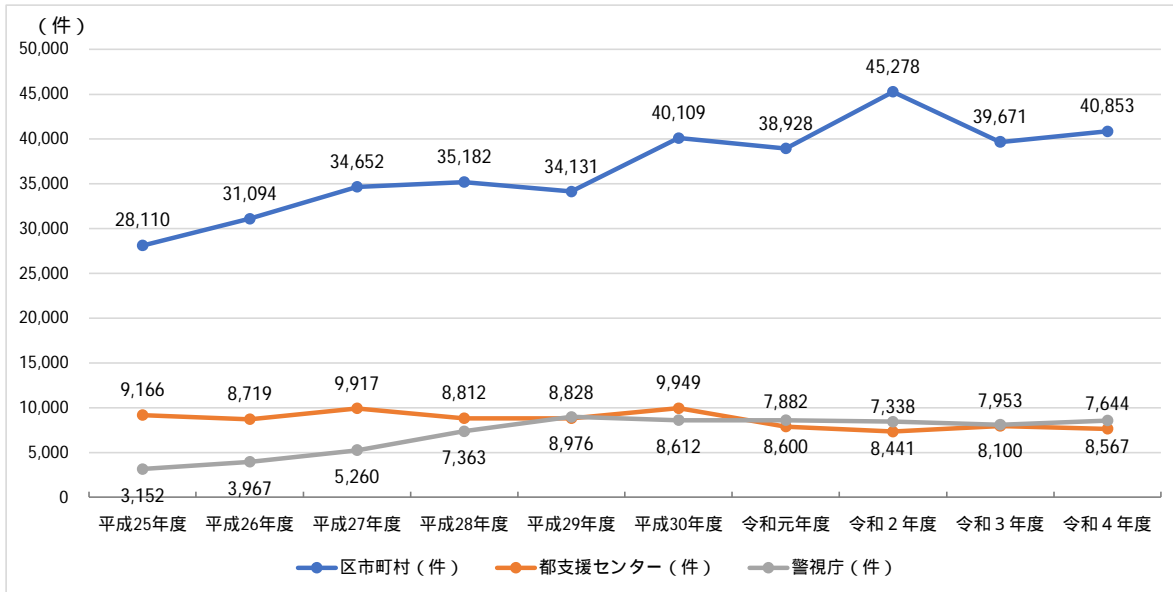
担当評価基準	5: 予定より大きな成果が出ている 4: 予定した成果が出ている(基準=100%の達成率) 3: おおむね予定した成果が出ている 2: 予定した成果があまり出ていない 1: 予定した成果が出ていない
--------	---

目標 課題1
 担当課評価平均では、
 直近2か年は評価基準
 3となっている。

 進捗している

配偶者暴力相談等件数の推移(東京都)

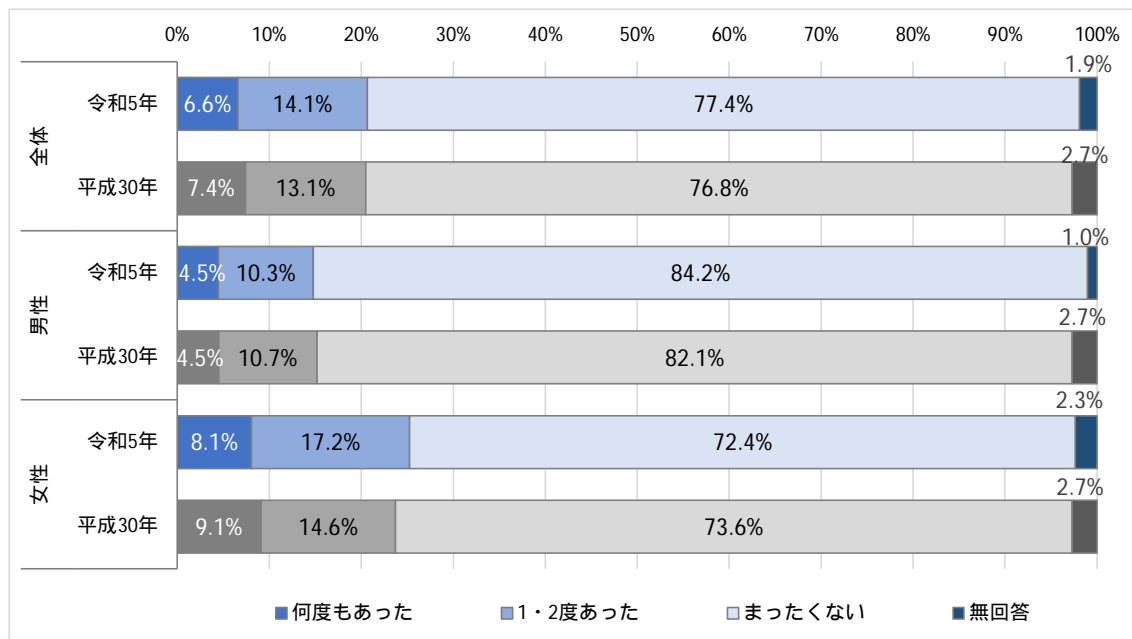
- ・配偶者暴力相談等件数は、区市町村では増加傾向で推移している。
- ・東京都の支援センターの相談件数はほぼ横ばい、警視庁への相談件数も平成28年度以降はほぼ横ばいで推移している。



男女共同参画センター「フューラル」における配偶者暴力相談件数の推移(府中市) 現在調査中

あなたやあなたの身近な人の DV 体験回数

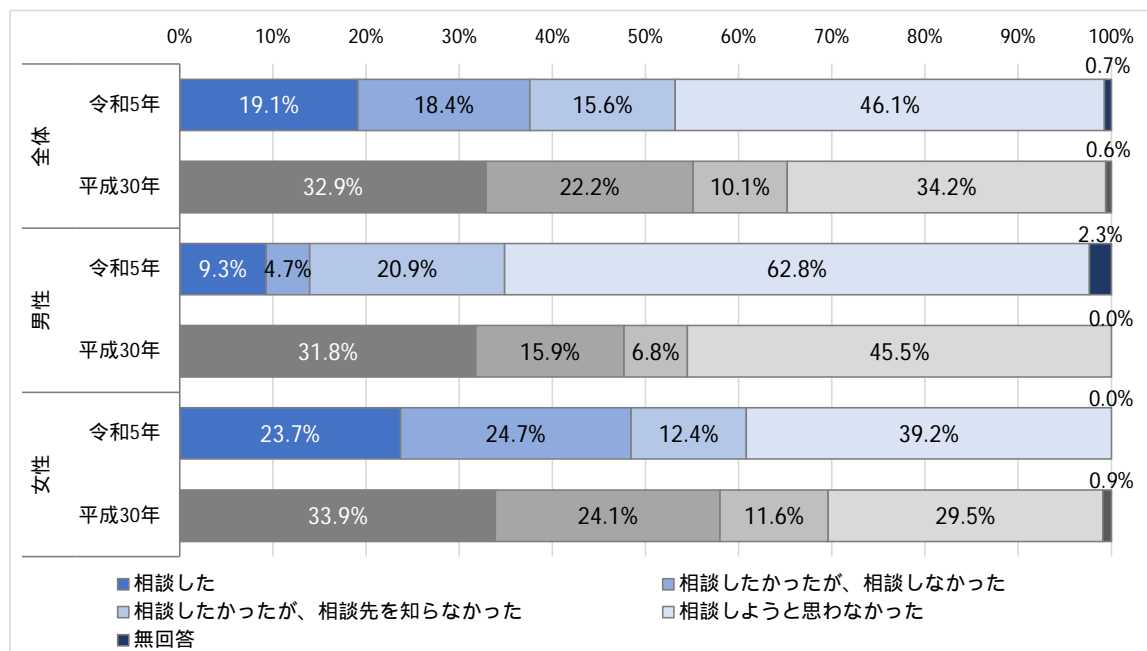
・前回調査とほぼ同じ傾向となっているが、女性の DV 体験はやや増加している。



DV の相談経験

・DV の相談については、「相談しようと思わなかった」が前回調査より増加している。

・特に男性は、「相談した」が大きく減少している。

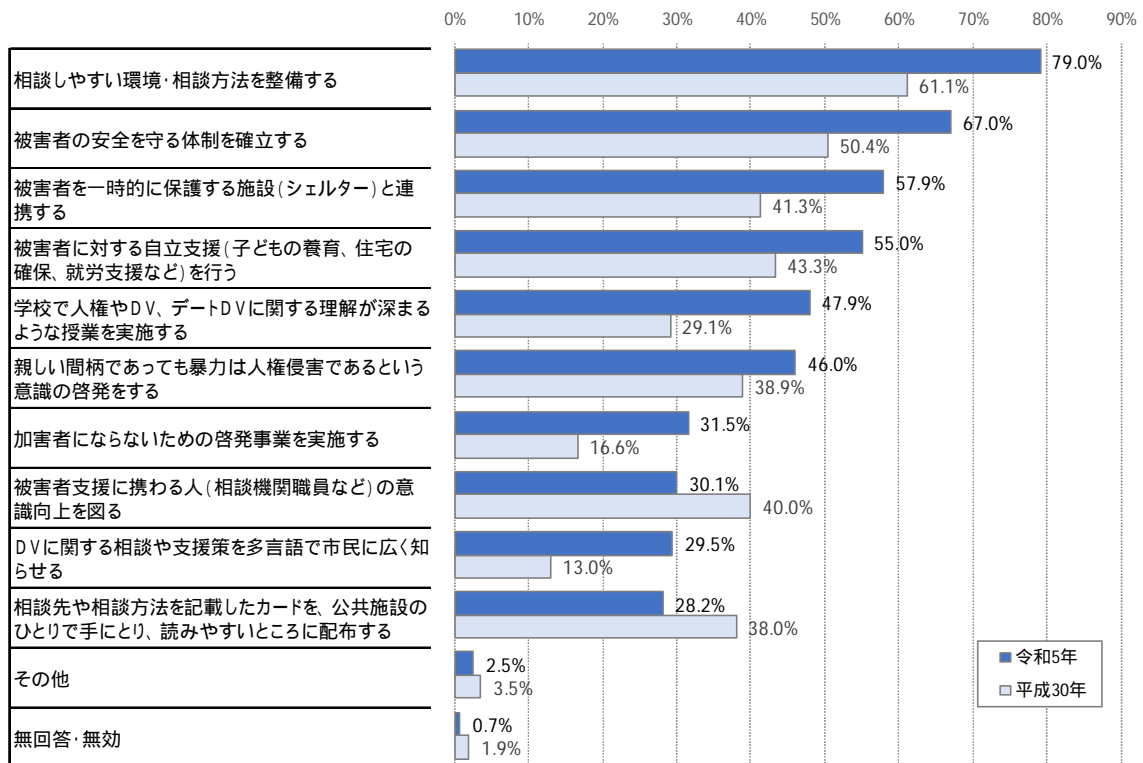


DV の相談先 令和5年調査では設問を除外したので比較できない

DV を相談しなかった理由 令和5年調査では設問を除外したので比較できない

DV 対策・防止のために、今後、府中市の施策として必要な事業

- ・前回調査と比較すると増加している選択肢が多い。
- ・「相談しやすい環境・相談方法を整備する」「学校で人権や DV、デート DV に関する理解が深まるような授業を実施する」は2割ほど増加している。



課題2 人権の尊重

第6次府中市男女共同参画計画推進状況評価(令和2年度～令和4年度) 担当課評価平均

令和2年度	令和3年度	令和4年度
2.9	3.05	3.05

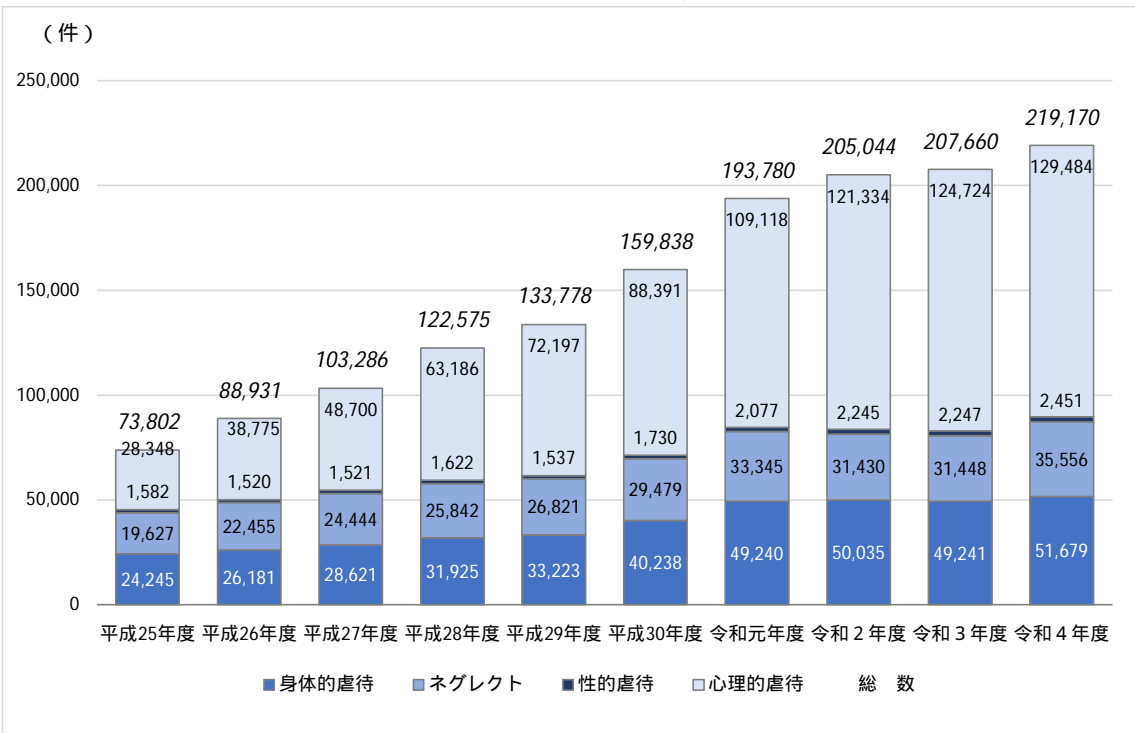
担当評価基準	
	5: 予定より大きな成果が出ている
	4: 予定した成果が出ている(基準 = 100%の達成率)
	3: おおむね予定した成果が出ている
	2: 予定した成果があまり出ていない
	1: 予定した成果が出ていない

目標 課題2
 担当課評価平均では、
 直近2か年は評価基準
 3以上となっている。

 進捗している

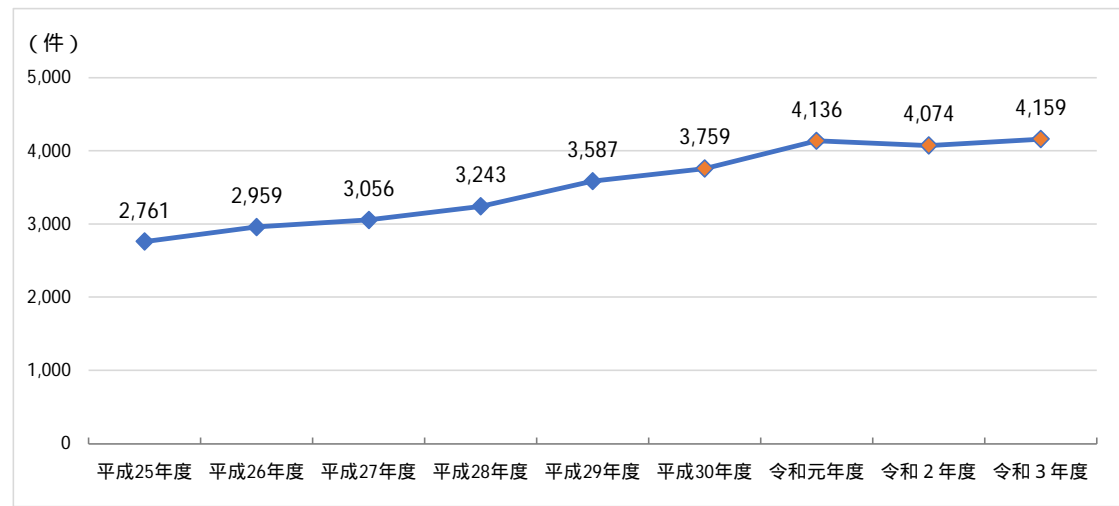
児童相談所における児童虐待相談対応件数(全国) こども家庭庁

・児童虐待相談対応件数は年々増加傾向で推移している。



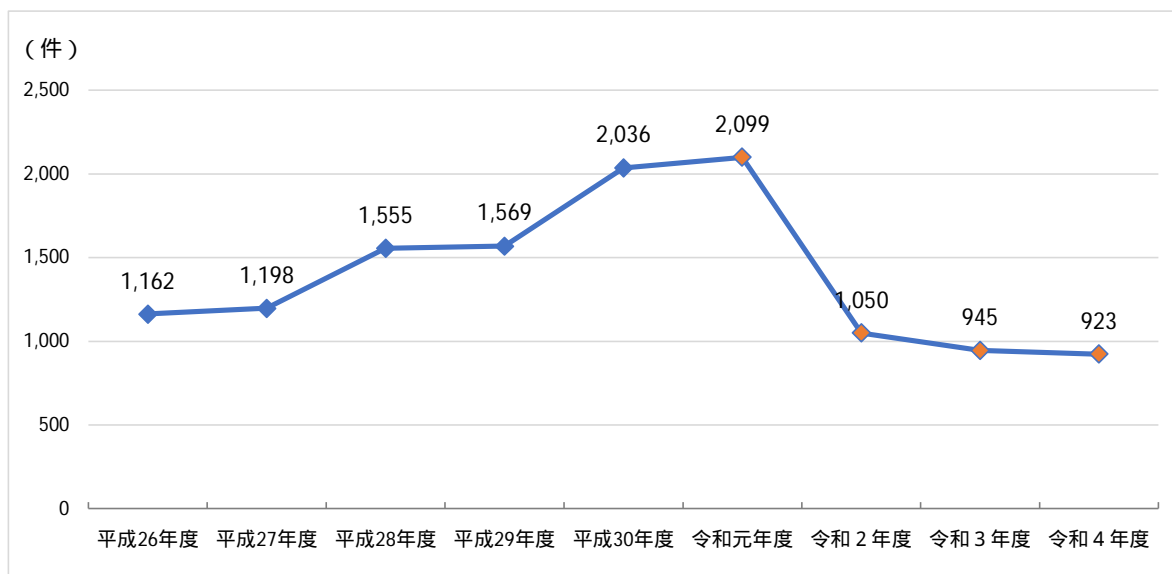
養護者による高齢者虐待に関する相談・通報の状況(東京都)

・高齢者虐待に関する相談・通報数は年々増加傾向で推移している。



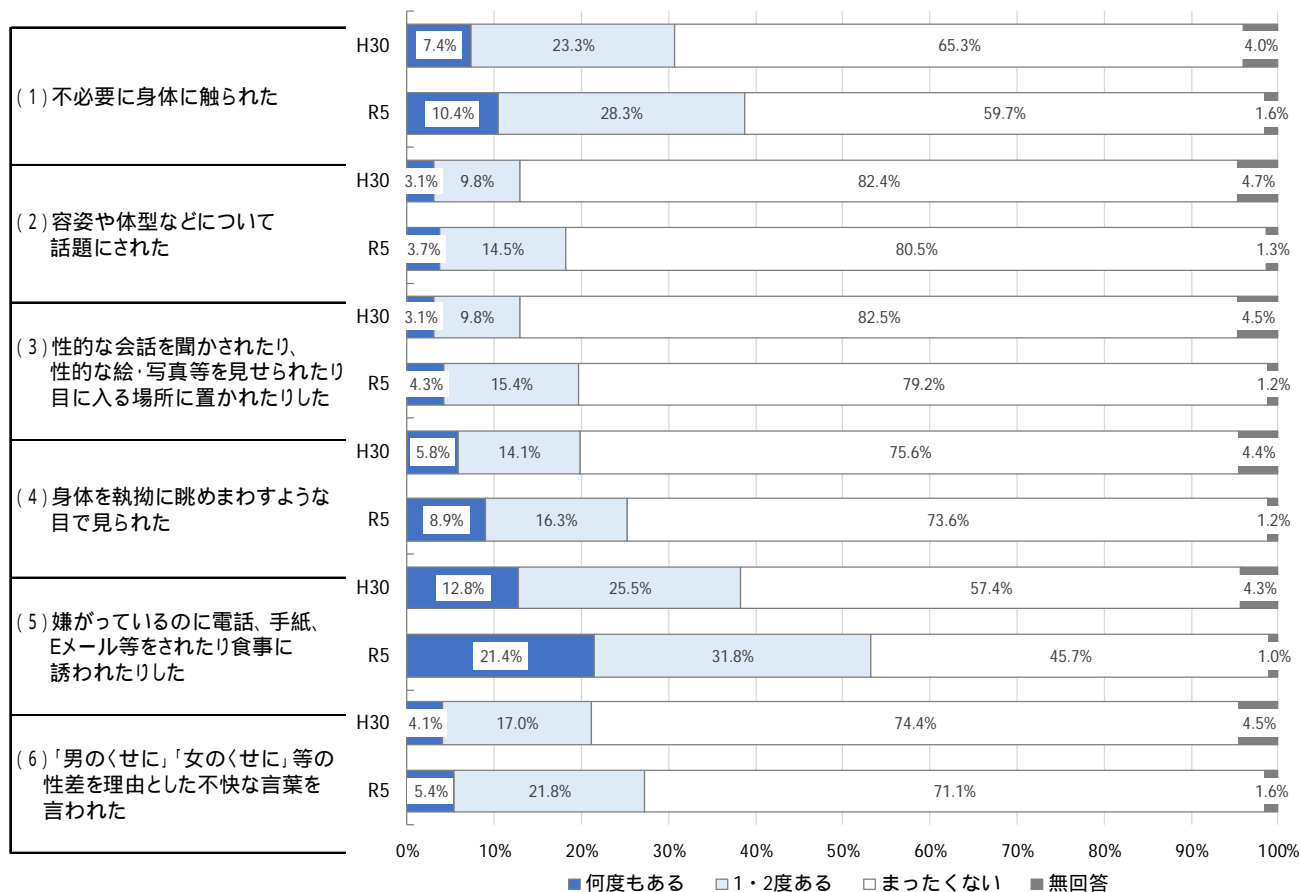
セクシュアルハラスメント労働相談件数の推移(東京都) 東京都産業労働局

・セクシュアルハラスメント労働相談件数は年々増加傾向で推移していたが、令和2年度に大きく減少し(新型コロナウイルスの影響で通勤が減少したことが原因か)、その後も減少傾向となっている。



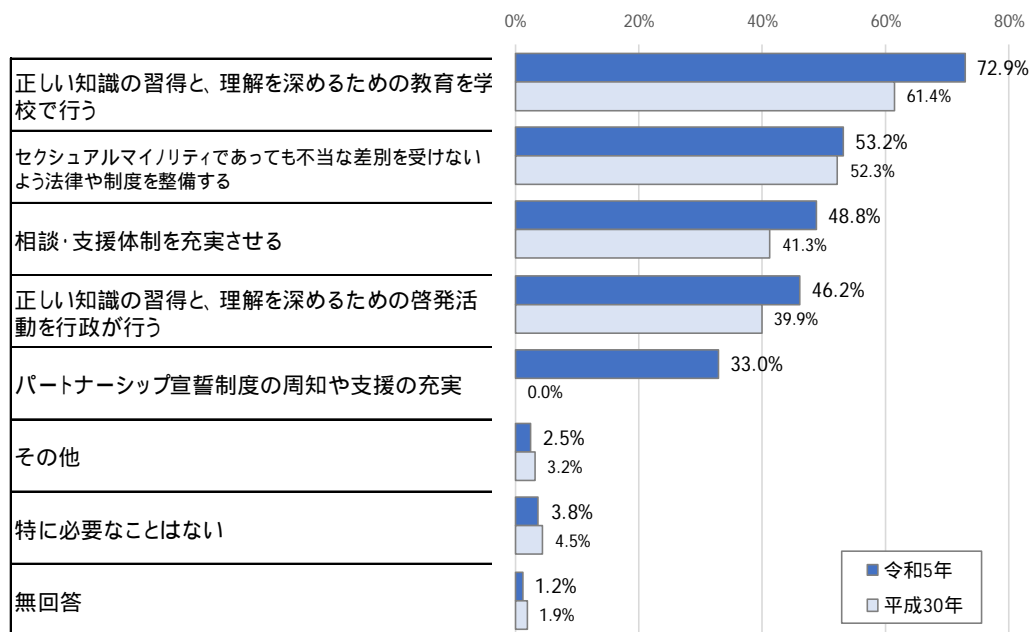
セクシュアルハラスメントを受けた経験(全体)

・前回調査と比較すると「嫌がっているのに電話、手紙、Eメール等をされたり、食事に誘われたりした」が増加している。



性的マイノリティの方々の人権を守るために、必要な方策(府中市)

- ・前回調査と比較すると、どの選択肢も増加している。
- ・「正しい知識の習得と、理解を深めるための教育を学校で行う」は7割を超えている。



課題3 生涯を通じた健康支援

第6次府中市男女共同参画計画推進状況評価(令和2年度～令和4年度) 担当課評価平均

令和2年度	令和3年度	令和4年度
2.4	2.6	2.6

担当評価基準	5: 予定より大きな成果が出ている 4: 予定した成果が出ている(基準 = 100%の達成率) 3: おおむね予定した成果が出ている 2: 予定した成果があまり出ていない 1: 予定した成果が出ていない
--------	---

目標 課題3
 担当課評価平均では、
 3か年を通して評価基
 準3に達していない。

 やや遅れている

子宮がん・乳がん検診受診率の推移(東京都) 北多摩南部保健医療圏 保健医療福祉データ集

・府中市の子宮がん・乳がん検診受診率は年々減少している。

・乳がん検診については、東京都より受診率は高いが¹、子宮がん検診の受診率は東京都よりやや低い。

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
子宮がん	府中市	10.5%	21.1%	21.1%	15.0%	14.5%	14.3%	13.6%	13.3%	11.5%
	東京都	17.7%	20.7%	21.2%	19.2%	14.9%	14.3%	14.0%	14.0%	13.8%
乳がん	府中市	14.0%	24.2%	29.7%	24.5%	25.8%	26.2%	24.6%	23.4%	20.5%
	東京都	15.7%	20.1%	21.4%	20.5%	17.8%	17.2%	16.8%	16.8%	15.9%

課題4 相談体制の充実

第6次府中市男女共同参画計画推進状況評価(令和2年度～令和4年度) 担当課評価平均

令和2年度	令和3年度	令和4年度
3.13	3.07	3.07

担当評価基準
5: 予定より大きな成果が出ている 4: 予定した成果が出ている(基準 = 100%の達成率) 3: おおむね予定した成果が出ている 2: 予定した成果があまり出していない 1: 予定した成果が出していない

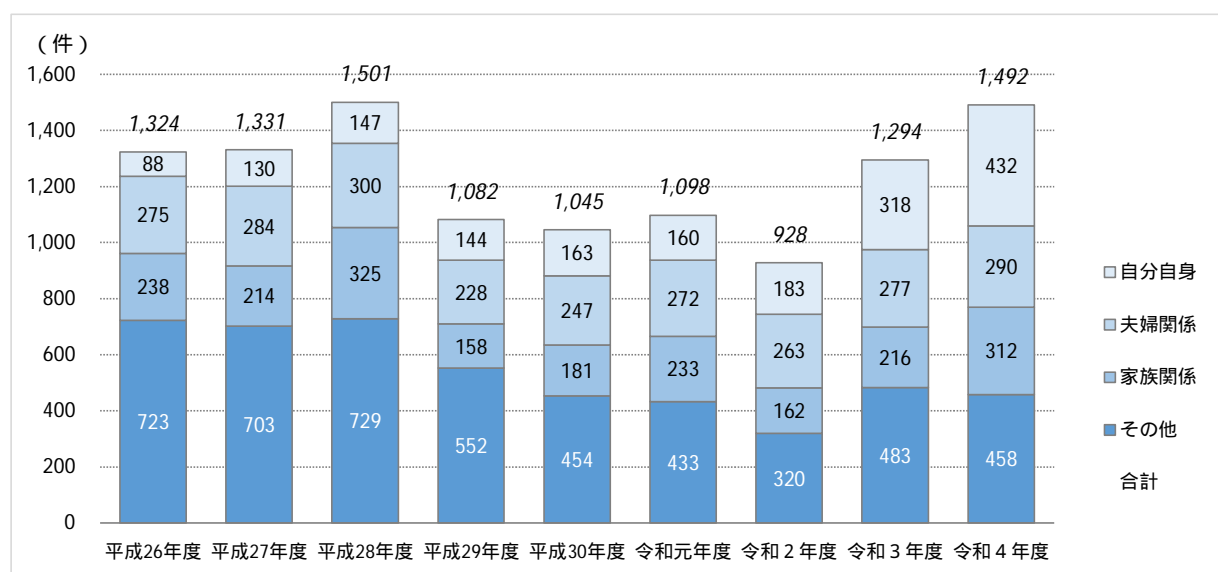
目標 課題4
担当課評価平均では、3か年を通して評価基準3以上となっている。

順調に進捗している

男女共同参画センター「フチャール」における相談状況の推移(府中市)

・相談内容では「自分自身」のことについての相談が増加している。

相談内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
自分自身	88	130	147	144	163	160	183	318	432
夫婦関係	275	284	300	228	247	272	263	277	290
家族関係	238	214	325	158	181	233	162	216	312
その他	723	703	729	552	454	433	320	483	458
合計	1,324	1,331	1,501	1,082	1,045	1,098	928	1,294	1,492



目標 男女共同参画社会づくり

課題1 男女共同参画意識の普及・啓発

第6次府中市男女共同参画計画推進状況評価(令和2年度～令和4年度) 担当課評価平均

令和2年度	令和3年度	令和4年度
2.83	3	3

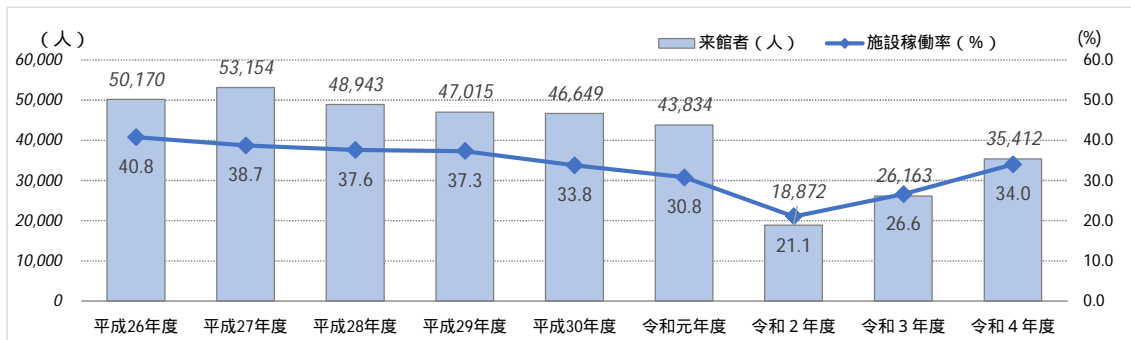
担当評価基準	5: 予定より大きな成果が出ている 4: 予定した成果が出ている(基準=100%の達成率) 3: おおむね予定した成果が出ている 2: 予定した成果があまり出していない 1: 予定した成果が出していない
--------	---

目標 課題1
 担当課評価平均では、直近2か年は評価基準3となっている。
 進捗している

男女共同参画センター「フチャール」の利用状況の推移

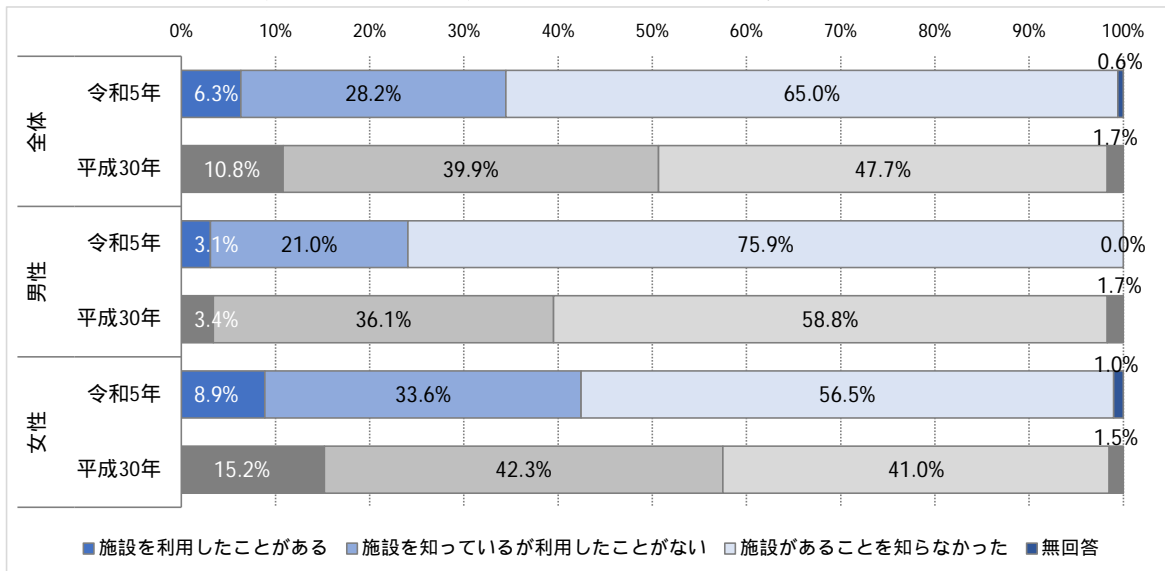
・男女共同参画センター「フチャール」の利用状況は、令和2年度に新型コロナの影響で大きく減少した。

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
来館者(人)	50,170	53,154	48,943	47,015	46,649	43,834	18,872	26,163	35,412
団体数(団体)	129	125	124	119	110	112	113	108	94
施設稼働率(%)	40.8	38.7	37.6	37.3	33.8	30.8	21.1	26.6	34.0



男女共同参画センター「フチャール」の認知・利用経験(府中市)

・男女共同参画センター「フチャール」の認知・利用経験は、前回調査より下がっており、「施設があることを知らなかった」市民が、男性では7割超、女性も5割を超えている。



見たり聞いたりしたことがある言葉

* 前回から見たり聞いたりしたことがある言葉を追加・削除している

- ・前回と比較すると、見たり聞いたりしたことがある言葉は増加している。
- ・新しい言葉については認知度が低い。(パートナーシップ宣誓制度、ダイバーシティ&インクルージョン、アンコンシャス・バイアス)

順位	見たり聞いたりしたことがある言葉	H30年	R5年
1	パワー・ハラスメント	94.3%	95.0%
2	セクシュアル・ハラスメント	89.8%	94.0%
3	ジェンダー	61.3%	89.1%
4	男女雇用機会均等法	82.6%	88.3%
5	ストーカー規制法	88.7%	87.7%
6	LGBT	58.7%	84.8%
7	マタニティ・ハラスメント	82.3%	84.2%
8	DV・デートDV	79.5%	79.6%
9	セクシュアルマイノリティ	52.6%	73.5%
10	男女共同参画社会	52.8%	65.8%
11	ワーク・ライフ・バランス	54.8%	60.9%
12	パートナーシップ宣誓制度	-	46.6%
13	メディア・リテラシー	26.6%	45.3%
14	女性活躍推進法	39.0%	38.4%
15	ダイバーシティ&インクルージョン	-	34.5%
16	女性差別撤廃条約	40.8%	32.7%
17	配偶者暴力防止法	39.8%	31.8%
18	アンコンシャス・バイアス	-	11.7%
19	ポジティブ・アクション	12.7%	11.6%
20	クォータ制	6.1%	9.5%
21	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ	3.8%	6.5%

男女が共に認め合い、いきいきと豊かに暮らせる社会を実現させるために、特に力を入れてほしいこと

* 前回から選択肢を変更したので比較できるものを選択して掲載

- ・前回調査と比較すると、どの選択肢も割合が増加している。
- ・「職場における男女平等について周知徹底を行う」「女性を意思決定の場に積極的に登用する」は、前回よりも割合が増加している。
- ・女性では「育児や介護をする人の負担軽減を行う」の割合が6割を超えている。

